

同姓同名の誤り

上原 昇 (2組)

人の名前の表記や確認は、慎重に行わないととんでもない間違いになることがある。2か月ほど前、上田高校同窓会報「古城の門」第55号が送られてきた。

その中の、同窓生叙勲一覧を見たら、20年秋の叙勲で同期のS君が旭日重光章で載っているのを目にした。

S君は関東同窓会所属なので、筆者はそのことを知らなかったこともあり、調べてみた。

すると、S君と全く同姓同名の某生命保険会社元会長が受賞していることが分かった。上田の同窓会本部事務局に確認を求めたところ、同期のS君本人からも訂正して欲しいと連絡が入っていた。やはり、事務局の早とちりであった。早速、本部のHPに丁重な訂正文が掲載されて一件落着となったが、一番びっくりして迷惑を被ったのは同期のS君だったのである。

筆者も関東同窓会の会報編集に携わった頃、同窓生の紹介で同姓同名の人がいて、卒期の表記が間違っていることに、校正で気づけなかったことがある。

また最近、同姓同名ではこんなこともあった。

関東同窓会HPで信州大学繊維学部（設立当時は上田蚕糸専門学校）の誕生について投稿があった。同校が設立されたのは1910年（明治43年）のこと。

その投稿で紹介されているある雑誌の中で、ある人が次のような文を書いていた。

「上田蚕糸専門学校設立当時の長野県知事の大山綱昌は、西郷隆盛の叔父で大山巖の父であり、・・・」。

実は、調べてみると大山綱昌は同姓同名の人がいて、一人はまさしく西郷どんの叔父で大山元帥の父親（1800年頃の生まれの人）。もう一人は役人で1905年から長野県知事を務めている。どう考えても、大山巖の父が長野県知事というのは年代的におかしい。

この文章を書いた人は、PCのウキペディアなどを検索して、きちんと確認せず思い込んで執筆したのかもしれない。

我々も犯しそうな間違いではあるが、人の名前の確認は難しいものである。

(21年10月10日記)

「古城の門」
成澤文和君(4組)撮影

